

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和48年度		根拠法令・例規等		備前市災害見舞金等支給要綱		
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		問	担当課(室)	社会福祉課		
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり			合	職・氏名	障害者福祉係長 江見清人	
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉			先	電話	64-1824	
事務事業名		02		災害見舞金給付事業		このシート作成に要した時間		2.5 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	災害被災市民		
目的(何のために)	被害を受けた者の援護と奮起を促すことを目的とする。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	被害を受けた者が、少しでも早く被災前の生活に戻れるようにしたい。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	
	災害見舞金給付事業	水・火災等の被害者に見舞金を、又死亡者には弔慰金を給付する。(上限10万円)	
	地方債管理事業	過去の災害において罹災した人に貸し付けた、貸付金の管理をする。	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	510	536	322	
	必要人員	人員	千円	0.01人	99	0.05人	
	事業費	人員	千円	609	998	728	
	財源	国	支出金	千円	7	6	4
		受	益者負担	千円	20	11	8
		繰	入金	千円			
	一般	市	債	千円			
		源	その他()	千円			
	受	益者負担比率	%	582	981	716	
受	益者負担比率	%	3.3%	1.1%	1.1%		

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	
	災害見舞金等支給件数	件	5	3	1	
	対	前年比	%	-	60.0%	33.3%
	活	動コスト	円	316,000	706,000	943,000
	単	位当たりコスト	円	63,200	235,333	943,000

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
	目標値(A)	0	0	0	0	
	実績値(B)	5	3	1	到達目標値	
達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0	
成果指標設定の考え方・式や説明						
<ul style="list-style-type: none"> 災害見舞金、弔慰金及び障害見舞金を支給した件数 災害の規模や発生件数を見込むのは不適当であるので、目標値は0とする 						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い		B	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	
市民参画度				B	

進行年度(H24年度)の改革改善内容								
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
説明	昨年同様に事業を実施。							

総合評価		Action	
見舞金の金額は少額であるが、被害を受けた者の援護と奮起を促し少しでも早く通常の生活に戻するために役立っていると思慮する。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	
		B	

平成25年度の方向性・取組目標								
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
取組目標	現状維持とするが、被災者の区分(独居、過失、相続者の市内外在住)等により今後見舞金の支給基準及び額を見直しをする必要がある。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな